

第10回とちぎ就労支援 リハビリテーション講習会

平成29年12月2日土
13:00~16:15

(とちぎ高次脳機能障害友の会設立10周年記念講演会)

栃木県教育会館 小ホール 〒320-0066 宇都宮市駒生1丁目1-6

参加費
無料

交通死亡事故は減少傾向にありますが、救命後脳外傷や脊髄損傷等を負い、重い障害を抱えて苦しむ被害者は少なくありません。そこで今回は脳外傷等による高次脳機能障害を取り上げ、その障害と向き合う様々な立場から多くの提言をいただき、家族・当事者から支援者までそれぞれの立場で、この障害と今後どのように向き合って就労や社会参加を実現していけば良いのかを考えます。

テーマ 高次脳機能障害と向き合う

- 12:30 受付開始
- 13:00~13:10 開会のあいさつ
- 13:10~14:10



第一部 講演

突然、妻が倒れたら 高次脳機能障害を介護する重さ

講師：松本 方哉 氏 介護ジャーナリスト、フジテレビの解説委員、
元ニュースJAPANキャスター

長い間、報道局で国際問題を取材・報じてきた中で、奥様が突然、くも膜下出血を発症したことで、家族として重い高次脳機能障害などと正面から向き合われることとなりました。その厳しい体験を元に、子育てや仕事のことから現在の医療・福祉・介護制度への思いや提言まで、詳しくお話していただきます。

- 14:10~14:25 休憩
- 14:25~16:10

第二部 パネルディスカッション

高次脳機能障害者の支援～実際と展望～

座長 船越 政範 氏 とちぎリハビリテーションセンター診療副部長

パネリスト 川島 広明 氏

足利赤十字病院
言語聴覚士

津野田 尚範 氏

一般社団法人ソーシャルファーム栃木
ソーシャルファーム小山管理者

石崎 智 氏

芳賀郡障害児者相談支援センター
相談支援専門員

谷田部 英敏 氏

県北圏域障害者就業・生活支援センター
主任就業支援担当

参加の
お申し込みは
裏面にて

- 16:10~16:15 閉会のあいさつ

【主催者】NPO法人チャレンジド・コミュニティ 【共催者】とちぎ高次脳機能障害友の会 【助成団体】一般社団法人 日本損害保険協会

【後援団体】栃木県 宇都宮市 下野新聞社 栃木障がいフォーラム(TDF) 全国脊髄損傷者連合会栃木県支部
栃木県遷延性意識障害者・家族の会「らいめい」 栃木県作業療法士会 栃木県理学療法士会 栃木県言語聴覚士会
栃木県中小企業家同友会障害者就労支援部会

【問合せ先】 ・NPO法人チャレンジド・コミュニティ ・とちぎ高次脳機能障害友の会
宇都宮市花房2-8-6 下野市下古山3003-47 (中野房)
TEL/FAX 028-611-3991 TEL/FAX 0285-38-6485
メール：info@npocc.org